

弘前大学学報



平成23年度弘前大学及び弘前大学大学院秋季学位記授与式

第 90 号
平成23年 9月号

学内ニュース

○平成23年度 弘前大学及び弘前大学大学院秋季学位記授与式告辞	弘前大学長 遠藤正彦	1
○第1回 遠藤学長杯 弘前大学事務職員ボウリング大会を開催	-----	2
○ノーベル化学賞・白川英樹博士を招き特別講演会を開催	-----	3
○第3回「緊急被ばく医療国際シンポジウム」を開催	-----	4
○第5回学生相談を考える会を開催	-----	5
○私費外国人留学生特別研究助成認定状交付式を実施	-----	6
○第9回産学官連携功労者表彰（農林水産大臣賞）を受賞	-----	7
○2011年 弘前大学シニアサマーカレッジを実施	-----	8
○浪江町と連携に関する協定を締結	-----	9
○平成23年度弘前大学及び弘前大学大学院秋季学位記授与式を挙行	-----	10

諸会議

-----	11
-------	----

人事

○人事異動	-----	14
-------	-------	----

主要日誌

-----	15
-------	----

学内規則等の制定等

-----	16
-------	----

平成23年度 弘前大学及び弘前大学大学院秋季学位記授与式 告 辞

朝夕秋冷を覚えるようになりました。このような時、本学は、平成23年度秋季学位記授与式を挙行しています。今、学士、修士及び博士の学位記を授与された皆さんの中には、秋季入学のため、学位記授与がこの秋季になった方1名と、大学院において努力された結果就業年限が短縮されたため秋季学位授与となった方、また様々な事情により学位記授与の時期の遅れた方がおられますが、それぞれ学位記を授与された皆さん、誠におめでとうございます。これからは、学位記授与の時期にかかわらず、春季学位記授与者と同じ扱いになります。これまでの学位記授与のために努力された皆さんに心から敬意を表します。

さて、皆さんはこれから社会に出る方、またはさらに進学される方がおられます。しかし、今我国は、本年3月11日の東日本大震災以来、社会の仕組みや考え方が大きく変化しようとしています。言うまでもなく、東日本大震災の復興に、我国の政治経済の軸足を移したため、政治経済のあり方が大きく変わり、それに以前から続いている経済不況が加わり、特にここ数ヶ月の中で、国際的金融不安も加わって、これからの我国は勿論、世界の進む先が予想し難くなっています。皆さんは、この中で一層の努力を強いられることとなりますが、それを試練とし、乗り越えてこそ、自分の将来の見通しをつかむことができると思います。

本学弘前大学は、この度の東日本大震災では、その被害も軽微であった上に、今まで第1期中期目標から第2期中期目標の今日まで、他大学にはない、徹底した大学発展の基盤整備、即ち、図書館の充実、機器分析センターの充実、出版会の設立、北日本新エネルギー研究所、白神自然環境研究所、被ばく医療総合研究所の3研究所の設立、校舎とキャンパスの環境整備等を行ってきました。

皆さんが今巣立つ母校弘前大学は、大きく大きく発展しています。皆さんは、皆さんのこの母校を誇りに思い、心の支えとして、社会で大いに努力し、それぞれの領域でのリーダーとして、また社会のオピニオンリーダーとして活躍して欲しいと願います。

皆さんの中には、外国人留学生の方も含まれていますが、その方も、皆さんの母国に戻られたら、本学で培った専門性を生かし、それぞれ母国発展のため、力を尽くすと同時に、皆さんの国と我国の国際交流の直接的担い手となるよう努力してほしいと願います。

みなさんのこれからいよいよの発展に対しエールを送り、告示と致します。

平成23年9月30日

弘前大学長 遠藤 正彦



第1回 遠藤学長杯 弘前大学事務職員ボウリング大会を開催

本学では、事務職員を対象とした「第1回 遠藤学長杯 弘前大学事務職員ボウリング大会」を9月8日（木）に開催しました。このボウリング大会は、平成22年度学長と若手事務職員の懇談会において、「学内で活気ある楽しい行事を開催したい」との発案により、懇談会メンバーが中心となり実施したものです。

遠藤学長による始球式でゲームが開幕し、4～5名からなる14チームによる熱戦が繰り広げられた。日頃の練習の成果を披露すべく、華麗なフォームで投球する人、また、普段の運動不足がたたき、自分の思う方向とは反対にボールを投げてしまう人など、参加者は普段は会うことのない部署の職員との交流も楽しみながら、各々ゲームを満喫しました。

数十年ぶりにボウリングに参加した遠藤学長も、若手職員に負けない力強さで投球し、見事ストライクを決め、盛んな拍手を受けました。

2ゲームの平均点により、チーム賞、個人賞を決定し、さらに2ゲームで最もガーターが多かった人に「ガーター賞」、1ゲーム最低点の人に「盛り上げ賞」が授与されるなど、会場からは笑顔の絶えることのない大会となりました。



盛り上がる学長チーム



ハイスコアに歓声



歓喜の叫び



高得点者へ遠藤学長から表彰

ノーベル化学賞・白川英樹博士を招き特別講演会を開催

本学大学院理工学研究科では、2000年ノーベル化学賞受賞の白川英樹博士を招き、特別講演会を去る9月16日（金）に弘前大学創立60周年記念会館コラボ弘大八甲田ホールで開催しました。

特別講演会は、理工学研究科が、地域子ども達を対象に、勉学意欲や大学への進学意欲を高め、将来、地域と世界に活躍できる人材育成を目指すことを目的に毎年行っているサマースクールの一環として開催されたもので、会場には県内高校生ら約120人が来場しました。

白川博士は、「私の歩んだ道～導電性高分子研究の三四年を振り返って～」をテーマに講演し、博士の少年期からの体験をもとに、自然現象への興味、それを積極的に学ぶことの重要性、ノーベル化学賞受賞での発見・発想こぼれ話などを紹介しました。講演後は質疑応答が行われ、高校生から多数質問が寄せられました。



講演する白川博士



質問する高校生

第3回「緊急被ばく医療国際シンポジウム」を開催

本学大学院保健学研究科では、「放射線被ばくにおける線量評価と防護」をテーマに第3回「緊急被ばく医療国際シンポジウム」を9月17日（土）、同研究科24講義室で開催しました。

同研究科では、多くの原子力関連事業所が集中している青森県における緊急被ばく事故に対する安全、安心の確保、原子力関連企業従事者の医療リスク管理システムの構築及び被ばく医療に対応できるメディカルスタッフの養成を目指し、平成19年度から緊急被ばく医療人材育成の取組みを開始。

平成20年度からは文部科学省特別経費のプロジェクト事業として「緊急被ばく医療人材育成及び体制の整備」を実施しています。

3回目となる今回のシンポジウムは、弘前大学被ばく医療総合研究所及び文部科学省科学技術戦略推進費「被ばく医療プロフェッショナル育成計画」と共催し、独立行政法人放射線医学総合研究所の後援により開催したもので、関係機関から約100名が出席。弘前大学の緊急被ばく医療への取り組みや国内外の緊急被ばく医療と福島事故、放射線被ばくにおける線量評価と防護をテーマに、AFRRI及びIAEAの他、国内の関係機関から9名のシンポジストを迎え、原子力災害時における緊急被ばく医療について世界的な視野から講演、討議が行われました。また、同研究科で実施している「緊急被ばく医療人材育成プロジェクト」の研究成果を含む17件のポスター発表も行われ、参加者らは活発な質疑応答を行い、緊急被ばく医療への国際的知見を深めました。

また、シンポジウム終了後には、市内のホテルにてレセプションが開催され、遠藤学長から歓迎の挨拶に続き、本学学生による津軽三味線が演奏され、シンポジストら関係者と同研究科の教員が今後の連携推進に向けて情報交換を行い、交流を深めました。



活発な議論が行われたシンポジウム



本学学生と外国人講師

「第5回学生相談を考える会」を開催

9月20日（火）、学生相談に携わる学内外の教職員を対象にした「第5回学生相談を考える会」を開催しました。40人が参加し、学生を支えていく相談員のスタンスの在り方等を探りました。

同会は多様化・複雑化する学生相談に適切に対応し、学生の支援体制を充実させようと平成20年度から開催しており、今回で5回目の開催となりました。前回と同様、近隣の他大学とも連携・情報交換していこうと呼び掛け、青森県立保健大、東北女子大など6校から7人が参加しました。

本考える会では、鳴弘前大学人文学部准教授からの情報提供の後、具体的な事例に基づいて参加者とのディスカッションを行いました。ディスカッションにおいては、単位の取得状況の思わしくない学生へのアプローチや、学力の低い学生への大学側からの対応などについて、意見の交換を行いました。



意見交換を行う参加者

私費外国人留学生特別研究助成認定状交付式を実施

本学では博士後期課程に入学した私費外国人留学生のうち、先端的な研究やユニークな研究を行う学生に研究助成金として50万円を支給し、研究を支援しています。

今年度は岩手大学大学院連合農学研究科本学在籍生1名の研究を助成の対象として認定し、9月20日（火）に認定状交付式を行いました。

交付式では、岩手大学連合農学研究科1年の郝 茵さんに遠藤学長から学生に認定状が交付された後、学長から「意欲をもって今後の将来を切り開いていき、大学で培った研究で母国の科学研究の先頭に立てるよう頑張ってください。」との激励の言葉が贈られました。



遠藤学長より認定状を交付される 郝 茵 さん



左より大西国際交流センター長、遠藤学長、郝 茵 さん、神田教育・学生担当理事、手塚学務部長

第9回産学官連携功労者表彰（農林水産大臣賞）を受賞

本学は、第9回産学官連携功労者表彰（農林水産大臣賞）を受賞し、9月22日（木）東京国際フォーラムにおいて開催された「第10回産学官連携推進会議」の産学官連携功労者表彰授賞式で、地方独立行政法人青森県産業技術センターとともに表彰されました。

産学官連携功労者表彰は、大学、公的研究機関、企業等の産学官連携活動において、大きな成果を収め、あるいは先導的な取組を行う等、当該活動の推進に多大な貢献をした優れた成功事例に関し、功績が顕著であると認められる個人又はグループ・団体の功績を称えることにより、産学官連携の一層の活性化を図るもので、今年で第9回目となります。農林水産大臣賞は、農林水産業及び関連産業の振興の視点から特に顕著な功績又は功労があったと認められる者に表彰されるものであり、本学は、「未利用水産資源から抽出したプロテオグリカンを利用した新産業の創出」の取組事例で表彰を受けました。

本事例は、本学の研究シーズを基に展開してきたプロジェクトであり、平成16年度からは文部科学省都市エリア産学官連携促進事業（連携基盤整備型・一般型）の支援を受け、平成22年度からは地域イノベーション戦略支援プログラム「プロテオグリカンをコアとした津軽ヘルス&ビューティー産業クラスターの創生」として3年間の事業に取り組んでいます。

今回の受賞は、これまで主に廃棄処分されていたサケの鼻軟骨から、高純度のプロテオグリカン（糖タンパクの一種で保湿性及び抗炎症作用等の多彩な機能を持つ注目の成分）を低コストで精製する技術を開発し、その応用研究を進めてきたことで、未利用水産物を有効活用した食品、化粧品、医薬関係品等の多様な分野で製品開発の展望が開け、さらに平成22年度からは（地独）青森県産業技術センターが事業推進の中心となり、地域資源を活用した製品の開発による新しい産業、雇用の創出が進んだことで、水産資源の多角的利用と、漁村地域を含む地域の活性化につながる事例として高く評価されました。

授賞式では、弘前大学において本プロジェクトを総括してきた加藤研究・産学連携担当理事と（地独）青森県産業技術センター弘前地域研究所阿部馨バイオテクノロジー部部長に農林水産省農林水産技術会議事務局松田研究統括官から表彰状の授与があり、その後、記念撮影が行われました。また、9月21日、22日とブース展示も行われ、ブースに訪れた来場者は、研究内容等について詳細な説明を受け、熱心に見入っていました。



産学官連携功労者表彰授賞式の様子

「2011年 弘前大学シニアサマーカレッジ」を実施

9月13日（火）、本年度で6回目の開催となった「弘前大学シニアサマーカレッジ」の修了証書授与式を行い、遠藤学長が受講者ひとりひとりに修了証書を手渡しました。

本年度は「つがる今昔物語」をテーマに、弘前城築城400年記念事業として実施し、学内講師はもとより、りんご自然栽培農法の先駆者である木村秋則氏の特別講義や弘前ねぶた絵師による講義など、多彩な講師陣を迎え、充実した内容となりました。最終日、遠藤学長より、本学は、法人化後教育、研究並びに地域貢献を展開するため様々な取組みを行っており、6回目となる弘前大学シニアサマーカレッジは、その一環であること、また本年度は、南は九州、北は北海道の全国各地から113名の参加があり、全日程が無事終了し、今日の修了証書授与式を迎えられたことについて感謝の意が述べられました。

引き続き行われたさよならパーティでは、つがる弁を用いて昔話を語る「津軽昔コグループ」による語りが披露され、盛況のまま全日程を終了しました。



弘前ねぶた絵師による講義の様子



築城400年を迎えた弘前城の現地見学の様子

浪江町と連携に関する協定を締結

9月29日（木）、東京電力福島第一原子力発電所の事故により町内の約半分が警戒区域に指定され、町民のほとんどが避難を余儀なくされている福島県浪江町と、連携に関する協定を締結しました。

本学は、文部科学省等の要請で3月15日から8月1日までに医師や看護師をはじめ職員延べ567人を福島県へ派遣し被ばくスクリーニング等を行ってきました。また、浪江町津島地区からの依頼で農地の土壌や植物などの放射線量調査を行った実績を踏まえ、組織間の合意に基づいた長期的な調査を行い、科学的なデータを後世に残す等町の復興支援のための協定締結を申し入れたところ、浪江町からは、除染を含む環境改善、健康調査等についても協力依頼の意が示されました。

調印にあたって、馬場浪江町長から「弘前大学と協定を締結できて大変心強く思っており、除染のみならず、町の復興・再生について指導・助言をいただき新たなまちづくりを目指したい」と、遠藤学長からは被災された方々へのお見舞いの後、「皆さんと一緒に考えて問題の解決に努力していきたい」と、それぞれ挨拶がありました。

調印式には、浪江町から上野副町長、植田住民生活課長、高橋津島地区区長会長、紺野行政区長会事務局が、弘前大学からは江羅理事（財務・施設担当、事務局長）、佐藤医学研究科長（被ばく医療総合研究所長）、鈴木農学生命科学部長、神本北日本新エネルギー研究所長、石川白神自然環境研究所副所長、床次被ばく医療総合研究所教授が同席しました。なお、調印式の終了後には、今後の取組について意見交換が行われました。



固く握手を交わす遠藤学長（左）と馬場浪江町長

平成23年度弘前大学及び弘前大学大学院秋季学位記授与式を挙行

平成23年度弘前大学及び弘前大学大学院秋季学位記授与式が9月30日（金）、事務局3階大会議室において行われ、34名に学位記が授与されました。

平成23年度秋季の学位記授与者内訳は、次のとおりです。

○学士学位記授与者

人文学部	12名
教育学部	2名
医学部保健学科	3名
理工学部	5名
農学生命科学部	3名

○修士学位記授与者

人文社会科学研究科	1名
理工学研究科	1名

○博士学位記授与者

医学系研究科	2名
医学研究科	3名
保健学研究科（学位論文提出者）	1名
理工学研究科	1名

合 計 34名



遠藤学長より学位記を授与される卒業生

■ 諸 会 議

▼ 役員会

8月29日（月）

審議事項

- 1 組織評価について
- 2 「弘前大学名誉博士称号授与規程」の一部改正について
- 3 「国立大学法人弘前大学自家用電気工作物保安規程」の一部改正について

報告事項

- 1 教育学部附属小学校における学級児童数の変更について
- 2 平成22事業年度に係る業務の実績に関する国立大学法人評価委員会のヒアリングの実施について
- 3 研究機関における公的研究費の適正な執行等のための取組の徹底について
- 4 弘前大学国際シンポジウム助成事業の決定について
- 5 平成23年度弘前大学若手研究者支援事業の決定について

9月 5日（月）

審議事項

- 1 国立大学法人弘前大学教員業績評価に関する規程の一部改正について
- 2 弘前大学医学部規程の一部改正について
- 3 弘前大学特別聴講学生規程（案）について
- 4 平成24年度科研費申請の基本方針について
- 5 弘前大学学術特別賞授与実施要項等について

報告事項

- 1 平成23年度弘前大学研究成果公開シンポジウムの開催について

9月12日（月）

審議事項

- 1 弘前大学名誉博士候補者の推薦について

報告事項

- 1 夏期の電力需給対策の取組み結果について
- 2 平成23年度科学技術人材育成費補助事業「テニユアトラック普及・定着事業（機関選抜型）」選考結果について

9月26日（月）

審議事項

- 1 弘前大学学則の一部改正及び特別聴講学生規程の制定について
 - 2 国立大学法人弘前大学における組織評価に関する規程の制定について
 - 3 国立大学法人弘前大学教員業績評価に関する規程の一部改正について
 - 4 弘前大学医学部規程の一部改正について
 - 5 弘前大学名誉博士称号授与規程の一部改正について
 - 6 国立大学法人弘前大学事務組織規程の一部改正について
 - 7 弘前大学アイソトープ総合実験室放射線障害予防規程の一部改正について
 - 8 弘前大学名誉博士候補者の推薦について
 - 9 福島県双葉郡浪江町との連携に関する協定締結調印式について
 - 10 平成23年度戦略的経費事業計画について
 - 11 白神コミュニティ・ファンドについて
-

報告事項

- 1 科学技術人材育成費補助金 女性研究者研究活動支援事業（女性研究者支援モデル育成）
「つがるネッサンス！地域でつなぐ女性人才」にかかるエフォート管理について
- 2 組織評価・アクティビティ向上に関するヒアリングについて
- 3 第9回産学官連携功労者表彰（農林水産大臣賞）の受賞について
- 4 第4回弘前大学国際シンポジウムについて
- 5 環境報告書2011について

▼学長選考会議

9月 2日（金）

審議事項

- 1 学内意向投票の結果について
- 2 学長候補者の選考について
- 3 学内意向投票管理委員会について

▼教育研究評議会

9月13日（火）

審議事項

- 1 弘前大学学則の一部改正及び特別聴講学生規程（案）の制定について
- 2 国立大学法人弘前大学における組織評価に関する規程の制定について
- 3 国立大学法人弘前大学教員業績評価に関する規程の一部改正について
- 4 弘前大学医学部規程の一部改正について
- 5 弘前大学名誉博士称号授与規程の一部改正について
- 6 弘前大学名誉博士候補者の推薦について

報告事項

- 1 教員の人事について
(1) 教員の採用・昇任
- 2 オープンキャンパスについて
- 3 弘前大学学術特別賞授与実施要項等について
- 4 新エネルギー関連大学院の設置について
- 5 平成23年度弘前大学機関研究の選考結果について
- 6 平成23年度弘前大学若手研究者支援事業の決定について
- 7 弘前大学国際シンポジウム助成事業の決定について
- 8 平成23年度科学研究費補助金不採択者支援事業の決定について
- 9 平成23年度弘前大学研究成果公開シンポジウムの開催について
- 10 平成24年度科学研究費助成事業（科研費）申請の基本方針について
- 11 委員会等報告
(1) 21世紀教育センター運営委員会
(2) 第4次臨時入学試験改善委員会
(3) 研究・産学連携委員会

▼教育・学生委員会

9月22日（木）

審議事項

- 1 平成23年度FD活動について
- 2 高大連携公開講座協定更新について
- 3 除籍学生の再入学について

人 事 異 動

[採用]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成23年9月1日		坂元君年	准教授(農生)

[任命]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成23年9月1日	理事	江羅茂	総務部長事務取扱

[復職]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成23年9月1日	看護師(病院)	駒井朋子	育児休業より復帰

[休職]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成23年9月1日	職員グループ係長(総・人)	石岡勝彦	休職[H23.9.30まで]
平成23年9月4日	看護師(病院)	齋藤暢子	休職[H23.12.5まで]

[育児休業]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成23年9月2日	看護師(病院)	駒井裕紀子	平成24年9月30日まで
平成23年9月3日	看護師(病院)	工藤雅子	平成25年3月31日まで
平成23年9月4日	一般職員(理工)	福土佳奈子	平成24年7月31日まで
平成23年9月30日	助手(病院)	福田和歌子	平成23年10月31日まで

[離職]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成23年9月26日	助教(医)	工藤耕	辞職
平成23年9月30日	教諭(附特)	鎌田順子	辞職
平成23年9月30日	准教授(医)	伊東重豪	辞職
平成23年9月30日	助教(医)	檀上和真	辞職
平成23年9月30日	助手(医)	高田典和	辞職
平成23年9月30日	助教(病院)	武田育子	辞職
平成23年9月30日	助教(病院)	木村秀崇	辞職
平成23年9月30日	助教(病院)	横山公章	辞職
平成23年9月30日	看護師(病院)	江良雪乃	辞職

報告事項

- 1 弘前大学特別聴講学生規程の制定について
- 2 平成23年度後期「弘前大学高大連携公開講座」受講者について
- 3 平成23年度後期「弘前学院大学との単位互換」特別聴講学生について
- 4 平成23年度全国学生指導担当教職員研修会について
- 5 学生相談を考える会について
- 6 平成23年度後期授業料の延納・分納許可者について
- 7 平成23年度日本学生支援機構奨学生の追加推薦状況について
- 8 岩谷元彰弘前大学育英基金申請募集について

▼研究・産学連携委員会委員会

9月 7日（水）

審議事項

- 1 弘前大学学術特別賞授与実施要項等について

報告事項

- 1 平成23年度弘前大学機関研究の選考結果について
- 2 平成23年度弘前大学若手研究者支援事業の決定について
- 3 弘前大学国際シンポジウム助成事業の決定について
- 4 平成23年度科学研究費補助金不採択者支援事業の決定について
- 5 平成23年度弘前大学研究成果公開シンポジウムについて
- 6 平成24年度科研費申請の基本方針について
- 7 平成23年度第2回弘前大学科研費説明会の開催について
- 8 地域共同研究センター運営委員会の報告について

■ 主要日誌

- 9月2日 学長選考会議
- 5日 役員会
- 7日 研究・産学連携委員会委員会
- 8日 第1回遠藤学長杯弘前大学事務職員ボウリング大会
- 12日 役員会
- 13日 教育研究評議会
- 16日 弘前大学理工学研究科サマースクール特別講演会
- 17日 第3回「緊急被ばく医療国際シンポジウム」
- 20日 第5回「学生相談を考える会」
- 20日 私費外国人留学生特別研究助成認定状交付式
- 22日 学長定例記者会見
教育・学生委員会
- 26日 役員会
- 29日 浪江町と連携に関する協定を締結
- 30日 弘前大学及び弘前大学大学院秋季学位記授与式

■ 学内規則等の制定等

(平成23年8月31日改正)

○国立大学法人弘前大学自家用電気工作物保安規程

以下の理由により，上記の規程の一部を改正した。

- ①指揮命令系統及び連絡系統を見直す。
- ②本町地区の非常用発電機の運用を，常用発電機兼用から非常用発電機専用に切り替えたため，巡視，点検，測定基準を整備する。
- ③試験及び点検周期の見直しを行う。
- ④字句の修正等所要の整備を行う。

弘前大学学報第90号

弘前大学総務部総務課
036-8560 弘前市文京町1
電話 (0172) 36-2111